

令和3年度事業報告

一般社団法人 日本船用機関整備協会

第1 組織の概要

1. 会員

令和3年度末現在の会員は、次のとおりである。

正会員	551社	うち 整備業会員	535社
		製造会員	16社
賛助会員	30団体・個人	うち 団体	21団体
		個人	9人

〔 令和3年度の入退会は、入会8社（正会員 8社）
退会 6社（正会員 6社） 〕

2. 役員

令和3年度末現在の役員は、会長1名、副会長4名、専務理事1名、理事26名（理事総数32名）、監事2名及び顧問2名である。（役員名簿参照）

3. 委員会等

本協会の事業を実施するため、次の委員会を設置している。

- (1) 政策委員会(委員14名)
- (2) 船用機関整備士資格検定委員会(委員15名)
- (3) 船用機関整備士資格検定講習小委員会(委員11名)
- (4) 業務委員会(委員15名)

4. 事務局

令和3年度末の事務局の概要は、次のとおりである。

(1) 所在地

東京都千代田区神田岩本町4番地9 トウルム神田 8階
電 話：03-3256-0141
FAX：03-3256-0140

(2) 組織

専務理事 渡邊 元尚
事務局長(兼) 渡邊 元尚

(総務部)

部 長 河村 浩二
係 員 丹 純子

- 1 庶務に関すること。
- 2 総会、理事会及び政策委員会に関すること。
- 3 予算及び決算に関すること。
- 4 事業計画及び事業報告に関すること。
- 5 会員及び会費に関すること。
- 6 経理、給与等に関すること。
- 7 文書、公印、規程等の管理に関すること。

(技術部)

部 長 鈴木 雅裕
専任部長(兼) 正一 喜男
大下さや香

- 1 船用機関整備士の資格検定に関すること。
- 2 船用機関整備業の技術の向上に関すること。
- 3 船用機関の技術の改善に関すること。
- 4 船用機関整備士資格検定委員会及び講習小委員会に関すること。

(業務部)
部 長 正一 喜男

- 1 船用機関整備業界の振興に関する調査研究に関する
こと。
- 2 船用機関整備業の振興に関する情報及び広報に関する
こと。
- 3 支部との連絡調整に関すること。
- 4 業務委員会、中小型機関幹事会、高速機関整備部会
に関すること。

第2 事業の概要

1. 船用内燃機関整備技術者認証機関証明

「船用内燃機関整備技術者認証機関証明」は、機関故障に基づく海難防止等に係わる啓蒙を含めた船用機関の整備技術者の能力・知識・技術水準の維持を目的として事業団体が行っている認証制度を評価・証明しようとするものです。

当協会の行う船用機関整備士の資格検定事業は、国土交通省の審査の結果、まさしくこの認証制度に該当する国土交通省の定める基準を満足するとされ、令和2年1月に認定が更新されています。

当協会としては、証明を再取得したことを受けて、引き続き今後発行する船用機関整備士資格証明書及び船用機関整備士証に、「この資格は、国土交通省により「船用内燃機関整備技術者認証機関」としての証明を受けた制度に基づき認定されている。」旨を明記するほか、船用機関整備士資格が「国土交通省公認の資格」であること、船用機関整備士の認知度が高まるよう、資格者バッジ、ヘルメットシール、名刺シールを配付、ホームページ、会報等の発行物、その他多くの媒体・機会を利用して今後とも「船用機関整備士資格」をPRして参ります。

2. 「船用機関整備士」の資格検定【日本財団助成事業】

船用機関整備技術者に対して講習会及び検定試験を実施することにより、知識と技量を備えた「船用機関整備士」を育成し、船用機関整備技術者の技術レベルの向上を図った。

(1) 委員会等の開催

船用機関整備士資格検定事業の実施計画、講習内容、試験問題、合否判定等を審議するため、「船用機関整備士資格検定委員会」を5回、「講習小委員会」を3回開催した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月及び2月の委員会はそれぞれ書面審議で実施した。

4月6日(火)	第1回船用機関整備士資格検定委員会、第1回講習小委員会
7月13日(火)	第2回船用機関整備士資格検定委員会、第2回講習小委員会
9月21日(火)	第3回船用機関整備士資格検定委員会(書面審議)
12月14日(火)	第4回船用機関整備士資格検定委員会
2月15日(火)	第5回船用機関整備士資格検定委員会、第3回講習小委員会(書面審議)

(2) 指導書(テキスト)及び問題集の作成

- ① 新規講習会で使用する1～3級船用機関整備士の指導書及び問題集の令和2年度版を見直して令和3年度版を作成した。
- ② 更新講習会で使用する指導書(各級で共通使用)を作成した。
- ③ 3級の指導書を水産高校、水産系大学及び海員養成学校に送付した。

(3) 資格検定新規講習会の開催

検定試験の受験者を対象に資格検定新規講習会を下表のとおり実施した。

- ① 1級船用機関整備士新規講習会を下記の7会場で開催、52名が受講した。

地 区	実施場所 (会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	6	6月 2日(水)～ 6月 4日(金)
東 北	仙台市 (東北港運會館)	2	5月18日(火)～ 5月20日(木)
関 東	横浜市 (波止場會館)	11	5月18日(火)～ 5月20日(木)
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	8	6月 2日(水)～ 6月 4日(金)
中 国	広島市 (RCC文化センター)	5	5月26日(水)～ 5月28日(金)
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	5	5月18日(火)～ 5月20日(木)
九 州	福岡市 (福岡商工会議所)	15	5月26日(水)～ 5月28日(金)
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	中止	6月 2日(水)～ 6月 4日(金)
合 計		52	

② 2級船用機関整備士新規講習会を下記9会場で開催、84名が受講した。

地 区	実施場所 (会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	3	10月 7日(木)～10月 8日(金)
東 北	仙台市 (東北港運會館)	6	9月30日(木)～10月 1日(金)
関 東	横浜市 (波止場會館)	16	10月 6日(水)～10月 7日(木)
中 部	名古屋市 (名古屋港湾會館)	2	9月30日(木)～10月 1日(金)
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	14	10月14日(木)～10月15日(金)
中 国	広島市 (RCC文化センター)	12	9月30日(木)～10月 1日(金)
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	9	10月14日(木)～10月15日(金)
九 州	福岡市 (福岡商工会議所)	19	9月30日(木)～10月 1日(金)
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	3	9月16日(木)～ 9月17日(金)
合 計		84	

③ 3級船用機関整備士新規講習会を下記11会場で開催、143名が受講した。

地 区	実施場所 (会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	7	9月30日(木)～10月 1日(金)
東 北	仙台市 (東北港運會館)	3	10月13日(水)～10月14日(木)
北 陸	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)	6	9月16日(木)～ 9月17日(金)
関 東	横浜市 (波止場會館)	25	9月29日(水)～ 9月30日(木)
中 部	名古屋市 (名古屋港湾會館)	7	9月 9日(木)～ 9月10日(金)
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	27	9月16日(木)～ 9月17日(金)
中 国	広島市 (RCC文化センター)	12	9月 9日(木)～ 9月10日(金)
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	16	9月16日(木)～ 9月17日(金)
九 州	福岡市 (福岡商工会議所)	22	10月 7日(木)～10月 8日(金)
	長崎市 (長崎バスターミナルホテル)	14	10月14日(木)～10月15日(金)
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	4	10月 7日(木)～10月 8日(金)
合 計		143	

(4) 検定試験の実施

資格検定新規講習会受講者に対して学科試験及び実技試験を実施し、合格者にその資格を取得したことを証明する資格証明書(有効期間4年)を交付した。

① 1級船用機関整備士資格検定学科試験を6月25日に下記7会場で実施した。受験者は一昨年度の新規講習会受講者を含め55名で、41名が合格者した。

地 区	実施場所 (会場)	受験者数
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	6
東 北	仙台市 (東北港運會館)	3
関 東	横浜市 (波止場會館)	10
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	11
中 国	広島市 (RCC文化センター)	5
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	8
九 州	福岡市 (福岡商工会議所)	12
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	中止
	合 計	55

- ② 1級船用機関整備士資格検定実技・面接試験を、上記学科試験合格者と令和元年度学科試験合格者の内40名に対し下記3会場で実施し、船用機関整備士資格検定委員会において審議の結果、35名が合格した。

実施場所 (会場)	受験者数	開催日
相模原市 (三菱重工相模原技能訓練センター)	12	8月19日(木)
長浜市 (ヤンマー(株)グローバル研修センター)	15	8月19日(木)
福岡市 (ヤンマー船用システム(株)九州営業部)	13	1月19日(木)
	計	40

- ③ 2級・3級船用機関整備士資格検定試験(学科・実技)を11月19日に下記10会場で開催し、12月14日開催の船用機関整備士資格検定委員会において審議の結果、2級は94名の受験者のうち76名が、3級は145名の受験者のうち134名が合格した。

地 区	実施場所 (会場)	受験者数	
		2級	3級
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	5	7
東 北	仙台市 (仙台サンプラザ)	5	4
北 陸	新潟市 (東和造船(株))	—	6
関 東	横浜市 (波止場會館)	18	27
中 部	名古屋市 (名古屋港湾會館)	2	6
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	15	29
中 国	広島市 (RCC文化センター)	13	12
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	11	16
九 州	福岡市 (福岡商工会議所)	21	33
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	4	5
	合 計	94	145

(5) 資格更新講習会

資格証明書の有効期間(4年間)が満了する平成29年度資格取得者(1級にあつては平成28年度資格取得者を含む)及び資格有効期間更新者を対象に資格更新講習会を実施し、「船用機関整備士」としての知識及び技量を維持していることの確認を行った。

- ① 1級機関整備士資格更新講習会を下記11会場で開催し、298名が資格を更新した。

地 区	実施場所 (会場)	受講者数	開催日
北海道	小樽市 (小樽港湾センター)	6	5月21日(金)
	釧路市 (釧路港湾福利厚生會館)	6	5月27日(木)

東 北	仙台市 (東北港運會館)	32	7月 2日(金)
関 東	横浜市 (波止場會館)	33	6月 8日(火)
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	中止	5月28日(金)
	大阪市 (大阪府立労働センター)	55	7月21日(水)
中 国	広島市 (RCC文化センター)	24	5月14日(金)
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	28	7月16日(金)
九 州	長崎市 (長崎バスターミナルホテル)	20	5月20日(木)
	福岡市 (福岡商工会議所)	25	6月 7日(月)
	福岡市 (リファレンス駅東ビル)	61	7月30日(金)
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	8	6月11日(金)
合 計		298	

- ② 2級・3級船用機関整備士資格更新講習会 (合同講習会) を下表のとおり22会場で開催し、2級は155名、3級は127名が資格を更新した。

地 区	実施場所 (会場)	受講者数		開催日
		2級	3級	
北海道	稚内市 (稚内港湾施設株)	5	2	9月16日(木)
	函館市 (函館工業會館)	7	1	10月28日(木)
	釧路市 (釧路港湾福利厚生會館)	2	7	10月14日(木)
	小樽市 (小樽港湾センター)	1	1	10月 6日(水)
東 北	仙台市 (東北港運會館)	9	12	9月29日(水)
北 陸	新潟市 (新潟ユニオンプラザ)	3	6	10月15日(金)
	七尾市 (七尾商工会議所)	3	1	9月30日(木)
関 東	横浜市 (波止場會館)	15	22	10月 5日(火)
中 部	静岡市 (清水テルサ)	7	4	11月26日(金)
	名古屋市 (名古屋港湾會館)	2	4	9月29日(水)
	鳥羽市 (鳥羽商工会議所)	5	7	9月17日(金)
近 畿	大阪市 (大阪府立労働センター)	10	9	10月13日(水)
中 国	広島市 (RCC文化センター)	14	6	9月29日(水)
	松江市 (松江労働會館)	11	3	11月25日(木)
四 国	高松市 (高松港湾労働者福祉センター)	5	10	10月13日(水)
	今治市 (今治ヤンマー株)	7	6	10月 7日(木)
九 州	福岡市 (福岡商工会議所)	12	8	9月29日(水)
	長崎市 (長崎バスターミナルホテル)	12	6	9月 9日(木)
	上天草市 (上天草市商工会大矢野支所)	7	3	10月28日(木)
	大分市 (大分県中小企業會館)	8	4	11月11日(木)
	鹿児島市 (鹿児島県市町村自治會館)	4	3	11月25日(木)
沖 縄	那覇市 (沖縄船員會館)	6	2	9月15日(水)
合 計		155	127	

2. 技術講習会の実施【自主事業】

比較的経験の浅い船用機関整備従業員を対象に、ノギス、マイクロメータ等の計測基礎の実技講習会を3箇所で開催した。

No.	開催地	開催日	受講者
1	那覇市 沖縄水産會館	10月 14日(木)	8
2	神戸市 神戸ポートオアシス	10月 22日(金)	7
3	境港市 境港商工会議所	11月 5日(金)	16

3. 小型船舶の機関事故防止推進【自主事業】

(1) 機関事故防止講習会の開催

小型船舶の機関事故を防止するため海上保安庁等と連携して機関事故防止の講習会を3回開催した。

No.	主催者（協力機関）	開催地	開催日	参加者	対象
1	(公財) 東京都公園協会 水辺ライン事業部	東京都水上バス 船上	5月6日(木)	18	水上バス 乗務員
2	第十一管区海上保安本部	那覇市 那覇港湾合同庁舎	10月15日(金)	40	海保職員、 県漁連及び マリナー関係者
3	海上保安庁	横浜市 横浜海上防災基地	11月9日(火)	20	海保職員 (全管区)

4. 機関整備業務の活性化推進

(1) 外国人材の受け入れ

国の「新たな外国人材の受け入れ制度」の一環として国土交通省が実施している「造船・船用工業分野に係る特定技能外国人受け入れ」の仕組みを利用し、会員企業が「造船・船用工業分野に係る事業を営む者であること」の確認を受ける手続きの支援を行った。この結果9月に会員企業1社、ベトナム人技能実習生が特定技能在留資格を取得した。

(2) 船舶検査の合理化

船舶検査の合理化の方策として船用ディーゼル機関の検査において整備事業者が行った機関整備について整備記録等を活用し、船舶検査官の立会検査を省略するサービス・ステーション制度が平成12年から実施されている。

協会としては、この制度に他の機関部の機器を追加することを従来から要望していたところであるが、今般、対象範囲となる機器を拡大し、従来のディーゼル内燃機関及びクラッチ等動力装置に加えて、軸系、空気圧縮機、圧力容器、熱交換器、補機及び管装置（弁及びコック）を対象とすることが国土交通省に認められた。また、主機の出力上限も第一種サービス・ステーションで4,000kWまで拡大された。

これまで要望を続けていたサービス・ステーション制度に関し、令和2年10月に対象機器の範囲の拡大等を国土交通省に認めていただき、運用が始まった。この制度の活用実績について当協会会員にアンケート調査を行った。その結果、約6割の事業者が新しい制度を利用していることが分かった。

(3) 漁船保険関係機関との連携

日本漁船保険組合が実施する事故防止対策事業に協力するとともに、当協会が実施する機関事故防止講習会の開催等の事業の実施に関する協力要請を行った。

(4) アスベスト対策

アスベストについては、従前から船舶においても対策が実施されているところであるが、アスベストを含む陸上用の製品がいまだ市中に出回っていることなどから、最近、石綿規則が改正され、今後順次施行されることとなっている。船舶も本規則の対象となっていることから、船舶についての対応を協議するため船舶技術研究協会が中心となって検討会が開催されている。この委員会に積極的に参加して情報収集を実施している。

5. 経営基盤の強化

日本財団の造船関係事業資金貸付制度を利用して、資金の借入を希望する会員に対して、申請手続きの相談を行うとともに、申請する会員に対し団体証明を行った。

今年度については、日本財団が事業基盤強化資金（無利子融資制度）を設定し、会員に紹介したところ1件融資を受けることとなった。

6. 広報・宣伝等の推進

- (1) 会報「整備協会報」103号、104号、105号、106号を発行した。また、協会ホームページの更新を行うとともに、会員向けに毎月のスケジュールその他各種の情報をメールで提供した。
- (2) 全国水産高等学校長協会と連携し、12月に開催された「令和3年度第3回全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテスト」を後援し、審査員を派遣するとともに北海道函館水産高等学校の作品に対し、今後一層の活躍を期待し会長特別賞を贈り表彰した。

7. 優良機関整備士の表彰

舶用機関整備士の社会的地位及び技能水準の向上を図ることを目的として、優良舶用機関整備士の会長表彰を行った（受賞者19名）。

8. 褒章・叙勲・大臣表彰等

- (1) 会員の方が国から褒章を賜りました。

(役職は受章時)

黄綬褒章（秋）

荒井 誠二	テック両羽(株)	代表取締役会長
林 正毅	(有)林鉄工所	社長

- (2) 令和3年「海の日」にあたり、海事功労、永年勤続及び統計調査・発明考案等の功績に対し令和3年「海の日」にあたり、海事功労、永年勤続及び統計調査・発明考案等の功績に対して表彰が行われ、当協会会員の中から次のとおり国土交通大臣表彰3名（海事功労2名、永年勤続1名）、地方運輸局長等表彰41名（海事功労5名、永年勤続34名、マリンエキスパート（ジュニア）2名）の合計44名のみなさまが表彰の栄に浴しました。

(役職は受賞時)

国土交通大臣表彰（海事功労）

加藤 和弘	白勢エンジニアリング(株)	代表取締役
森脇 康文	(有)旭鉄工所	代表取締役
海野 光行	(公財)日本財団	常務理事

(当協会設立以来、協会事業に助成を賜っています。)

国土交通大臣表彰(永年勤続)

佐藤 守	(株)小野寺鐵工所	産業機械部製造技術課課長
------	-----------	--------------

運輸局長（監理部長）表彰受賞者（海事功労）

関東運輸局長

小西 紀次	富永物産(株)	代表取締役社長
-------	---------	---------

近畿運輸局長

浅田 英樹	ダイハツディーゼル(株)	常務執行役員
-------	--------------	--------

四国運輸局長

佐藤 直行	(株)マキタ	常務取締役執行役員
西尾 英仁	(有)西尾鉄工所	専務取締役

九州運輸局長

越智 勝彦	旭洋造船(株)	代表取締役社長
-------	---------	---------

運輸局長（監理部長）表彰受賞者（永年勤続）

北海道運輸局長

秋本 幸一	稚内港湾施設(株)	工務部船殻工場班長
福田 悟	敷島機器(株)	枝幸支店技術課長
福田 克希	敷島機器(株)	船用エンジン部技術課長兼羽幌営業所長

東北運輸局長

中嶋 英紀	宮城ヤンマー(株)	マリン事業部工事部次長
新妻 勇二	宮城ヤンマー(株)	マリン事業部マリン技術課課長
尾形 元治	宮城ヤンマー(株)	マリン事業部マリン技術課担当専門職

北陸信越運輸局長

安澤 晃	(株)ハイメックスキタヤマ	業務課
------	---------------	-----

近畿運輸局長

義川 益弘	ダイハツディーゼル(株)	守山工場製造部機械第二課精機・特機班
-------	--------------	--------------------

神戸運輸監理部長

芝 美智夫	ヤンマーパワーテクノロジー(株)	特機事業部生産技術部作業技術第二グループマイスター
田中 章太	阪神内燃機工業(株)	品質保証部品質管理課課長代理

中国運輸局長

伊東 孝博	(株)広島ヤンマー商事	サービス部部长
豊田 貴志	向島ドック(株)	現業グループ仕上チームサブリーダー
長尾 克則	向島ドック(株)	支援グループマネージャー
橋本 義宏	向島ドック(株)	現業グループ仕上チーム
井場 良一	向島ドック(株)	現業グループ鉄工チーム
岡野 行孝	内海造船(株)	取締役執行役員 新造船事業本部副本部長 兼設計本部長兼詳細設計部長
岡村 清志	内海造船(株)	新造船事業本部因島工場機電工作部長
三吉 義幸	(株)三和ドック	機関部機関課第一仕上班班長
藤原 卓史	(株)三和ドック	機関部機関課第一仕上班
田畑 源	(株)三和ドック	機関部機関課第一仕上班班長
鎌田 光洋	(株)三和ドック	船体部船体課クレーン班
赤松 芳一	(株)神田造船所	設計部部长
天野 辰博	(株)神田造船所	造船工作部機電課機装班班長
馬場 良二	(有)旭鉄工所	溶接工
浅野 勝史	ナカシマプロペラ(株)	製造本部玉島工場製造部機械・仕上グループ 仕上職場職長付
鈴木 章久	ナカシマプロペラ(株)	製造本部玉島工場製造部製造グループ 鑄造職場造型4班班長
谷合 義明	ナカシマプロペラ(株)	製造本部玉島工場製造部機械・仕上グループ 機械職場機械3班班長
藤岡 由嗣	ナカシマプロペラ(株)	製造本部玉島工場製造部機械・仕上グループ 仕上職場仕上5班

四国運輸局長

小川 太	(株)新来島どっく	常務執行役員 関連企業室長
白石 泰浩	(株)新来島どっく	大西工場船殻工作部組立課組立係第2組立職長
森 克司	(株)新来島どっく	常務執行役員 総務安全請負部門担当・総務部長 ・内部統制室長・内部監査室長
土井 清重	四国機器(株)	高知サービスセンター所長

九州運輸局長

内田 智徳	島原ドック協業組合	業務部資材課係長
柴田 恭宏	島原ドック協業組合	業務部船体課

運輸局長（監理部長）表彰受賞者（マリンエキスパート・ジュニア）

神戸運輸監理部長

平井 康一朗	阪神内燃機工業(株)	第一製造部工作課副職場長
山森 雄介	阪神内燃機工業(株)	製造部機関課

第3 会議等の開催

1. 総会

第10回定時総会

開催時期	6月16日(水)	東京：アルカディア市ヶ谷
審議事項	・令和2年度事業報告及び決算報告について ・令和3年度事業計画及び収支予算について ・2022年度日本財団助成金の申請権限を理事会に委任することについて ・役員を選任について	

2. 理事会

① 第19回通常理事会【書面決議】

決議日	5月20日(木)
審議事項	・令和2年度事業報告及び決算報告について ・令和3年度事業計画及び収支予算について ・規程の改正について ・会員の入退会について ・優良船用機関整備士表彰について
報告事項	・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について

② 第20回通常理事会

開催時期	10月20日(水)	東京：日本財団ビル
審議事項	・日本財団に対する2022年度助成金の申請について ・諸規程の改正について ・会員の入退会について	
報告事項	・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について	

3. 委員会等

① 第1回船用機関整備士資格検定委員会・第1回講習小委員会

開催時期	4月6日(火)	東京：日本財団ビル
審議事項	・令和3年度2・3級船用機関整備士資格検定の実施について ・令和3年度2・3級船用機関整備士資格有効期間更新の実施について	

② 第2回船用機関整備士資格検定委員会・第2回講習小委員会

開催時期	7月13日(火)	横浜：波止場会館
審議事項	・令和3年度1級船用機関整備士資格検定試験（学科）の結果について ・令和3年度1級船用機関整備士資格検定試験（実技・面接）の案内について	

③ 第3回船用機関整備士資格検定委員会

開催時期	9月21日(火)	【書面開催】
審議事項	・令和3年度1級船用機関整備士資格検定試験の結果について ・令和3年度1級船用機関整備士資格更新の結果について	

④ 第4回船用機関整備士資格検定委員会

開催時期 12月14日(火)

東京：日本財団ビル

- 審議事項 ・令和3年度2・3級船用機関整備士資格検定試験の結果について
・令和3年度2・3級船用機関整備士資格更新の結果について

⑤ 第5回船用機関整備士資格検定委員会・第3回講習小委員会

開催時期 2月15日(火) 【書面開催】

- 審議事項 ・令和3年度1級船用機関整備士資格検定試験結果(福岡会場分)について
・令和4年度機関整備士資格検定事業実施計画について
・令和4年度1級船用機関整備士資格検定の実施について
・令和4年度1級船用機関整備士資格有効期間更新の実施について

4. 支部活動

北海道	通常総会	7月2日(金)	小樽	小樽港湾センター
東北	通常総会	6月4日(金)	仙台	仙台サンプラザ
北陸	通常総会	6月11日(金)	新潟	(株)ハイメックスキタヤマ
関東	通常総会	7月15日(木)	・・・	書面決議にて実施
中部	通常総会	6月21日(月)	・・・	書面決議にて実施
神戸	通常総会	7月16日(金)	・・・	書面決議にて実施
	技術講習会	10月22日(金)	神戸	神戸ポートオアシス
中国	通常総会	7月8日(木)	広島	ホテルグランヴィア広島
	技術講習会	11月5日(金)	境港	境港商工会議所
四国	通常総会	7月30日(金)	・・・	書面決議にて実施
九州	通常総会	8月23日(月)	・・・	書面決議にて実施
沖縄	通常総会	6月15日(火)	・・・	書面決議にて実施
	技術講習会	10月14日(木)	那覇	沖縄水産会館